

事業の背景・目的

ミヤコタナゴ（以下、本種という。）は、本県を含むごく一部の限られた地域にのみ生息している。しかし、現存する生息地において少子高齢化による水路管理者の減少や、外来種の侵入等による生息環境の悪化に加えて、新たに近年では台風等による越流により生息水路外への逸出が懸念され、本種の生息が危ぶまれている。また、二枚貝生息地における獣類によると思われる二枚貝の食害により、本種の生息地となりえる環境も悪化している。

これらの背景を踏まえ、越流等により逸出した本種への被害確認や、本種の生息地となりえる二枚貝生息地の保全を行うとともに、現存の本種の生息地において保全活動を実施し、以て本種の野生下における安定的な生息環境を保全する。

事業の内容

①生息地及びその周辺水域の水生生物調査
本種の生息状況を確認するため、電気ショッカー等により水生生物調査を実施する。

②二枚貝生息地の被害対策
本種の生息地となりえる環境の保全のため、被害の原因を特定するため、センサーカメラを設置し、適切な対策を講じる。

③本種生息地における保全
地元民等により、生息水路の詳細把握や生息環境保全のための巡視や草刈り、泥上げ等の環境保全活動を実施する。）

得られた成果

①生息地及びその周辺水域の水生生物調査
・計4箇所調査を実施
・生息地では例年並みの生息数を確認
・周辺水域でも本種の生息を確認

②二枚貝生息地の被害対策
・センサーカメラを設置したが、原因の特定に至らず
・継続して原因の特定に努める

③本種生息地における保全
地元民等により、生息水路の詳細把握や生息環境保全のための巡視や草刈り、泥上げ等の環境保全活動を実施